

「みのかもさぼさぼカフェ ㊟」 あしあと

みのかも
さぼさぼカフェ



と き 7月18日(水) 午前10時~11時30分
 と ころ みのかも市民活動サポートセンター
 テーマ 「美濃加茂の子ども貧困について話そう」
 話題提供者 こども課 家庭相談員 平岩 伸子さん
 進行 北村 隆幸さん
 参加者 10名



家庭相談員 平岩伸子さんの相談内容

夫婦の問題・DV・離婚・養育費の請求・育児の疲れ・嫁姑問題・元夫との関係・子どもの不登校・学校からの相談等。まず、傾聴し、寄り添い、専門の方面につなげる仕事をしている。

(例)・申請手続きをすればもらえる児童扶養手当(18歳になるまで支給)の手続きしていない方の手続きのお手伝いをした。 ・**準要保護(就学援助)** ・**病院受診**などの申請手続きの紹介
 子どもの貧困といえは、昔は、おなかをすかせ、服もボロボロ。

今は、**心の貧困&ネグレクト** 医者に行かせてもらえない。学校に行かせてもらえない

→学習の遅れ→面白くない→孤立化 ※学校に出てこないと、子どもの声が聴けない

意見交換

- 厳しい状況を改めて実感できた。“生きていることの大切さ” “子どもは親を選べない” という言葉が心に残った。
- お手本のない親に説教しても伝わらない。やり方を教え、一緒にやってみることが大切。
- 親自身も親子関係が良くなかったことが多い。
- 親からネグレクトされている子供は、親をかばう傾向がある。
- 子どもが好きになれない(愛着障害) ⇔ 親自身が自分を好きになれない。肯定できない。
- 兄弟でも、母親からの扱いに差がある
- 相手にされないことが、悲しくこわい⇒自分の存在アピールのため何でもしてしまう危険あり
- 人権を否定しない。みんなが肯定して支えていけば、人生切り開いていける。

参加者の感想

心の問題が深くかかわっている。「相談できる人がいる」ことは大事なこと。傾聴の大切さ。豊かさとは何かと考えさせられた。・・・等。

北村さん 「相談窓口につなげる」ために市民の役割…地域が顔見知り 100%になる

平岩さん 「相談できるところがある」「受け入れてもらえるところがある」ことを知ってもらい、遠慮なく利用してほしい。

♪ 参加された方の胸に、様々な温かい思いが溢れた時間になりました。♪

次回は、平成30年8月31日(金)13:30~15:00
「助成金を得て、活用するために」 お楽しみに!!

